

看護学生の進路選択に関する調査

1991年11月1日
社団法人 日本看護協会
会長 有田 幸子

ご挨拶とお願い

日本看護協会は、保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦等で構成されている、会員約34万人を擁する看護職能団体です。このたび、本会では看護学生の進路選択と学校生活の現状を把握するために、看護学生を対象とした調査を実施することにいたしました。調査結果は、本会が看護教育の充実に向けて活動する際の基礎資料として活用する所存です。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

皆様のお答えは、数字に置き換えられ統計的に処理いたしますので、お答えになった内容によって個人的にご迷惑をおかけする事は一切ございません。どうかありのままのお答えをお聞かせください。

問1. あなたの年齢は、満 _____ 歳

問2. あなたの性別は 1. 女 2. 男

問3. 配偶関係は 1. 未婚 2. 既婚 → 子供の有無は 1. あり 2. なし

問4. 現在、どこから通学していますか

1. 自宅
2. 病・医院等の寮
3. 学校の寮
4. 1～3以外

問5. 現在の学校に入学するまでのあなたの最終学歴は（中退の場合、それ以前の卒業学歴を記入してください）

1. 中学校
2. 大学受験資格検定合格
3. 高等学校
4. 専門学校・短期大学
5. 高等専門学校
6. 大学
7. 大学院
8. その他（ ）

問6. 現在通っている学校は

1. 准看護婦学校
2. 高等学校衛生看護科
3. 3年課程看護学校
3. 看護短期大学
4. 看護大学

問7. 看護系の学校への進学を決めたのはいつですか

1. 中学校時代（それ以前を含む） 2. 高校1年生 3. 高校2年生
 4. 高校3年生 5. 看護以外の専門学校・大学に進学して
 6. 看護系の学校に入学して 7. 社会人になって

問8. 看護系の学校を志望したとき、ご両親や進路指導を担当された先生達は賛成しましたか。それぞれについてお答えください

	おおいに賛成	まあ賛成	やや反対	強く反対
父親	1	2	3	4
母親	1	2	3	4
先生	1	2	3	4

問9. 看護系の学校を志望したとき誰に、またはどこで相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい

1. 出身校の先生 2. 親 3. 友人 4. 看護協会 5 その他 ()

問10. 看護系の学校への入学を選んだ理由は何ですか。該当するものすべてに○を、また主な理由1つに◎をつけてください。

1. 人のためになる仕事があった 2. 資格を身につけたかった
 3. 看護職は就職に有利 4. 看護系の学校が入学しやすかった
 5. 看護職は収入がいい 6. 他の学校に比べて授業料が安い
 7. 人にすすめられて 8. なんとなく
 9. その他 ()

問11. 看護系の学校に進学しようと思ったとき、出身校の先生は進路指導をしてくださいましたか。

1. 適切な進路指導をしてくれた
 2. 適切とはいえないが指導してくれた
 3. 進路指導はしてくれなかった

→ 進路指導の先生からどのような情報を提供して欲しかったですか。具体的にお書きください。

問12. 現在通っている学校の種類は、あなたにとって第一志望の学校でしたか。

1. はい
2. いいえ

↳第1志望はどのような種類の学校でしたか。あてはまるものの番号に○をつけて下さい。

1. 看護大学
2. 看護短期大学
3. 3年制看護学校
4. 看護以外の大学
5. 看護以外の短期大学
6. その他 ()

問13. 看護系の学校に進学するために予備校に通いましたか。

1. 看護系の学校へ進学するための予備校に通った
2. その他の予備校に通った
3. 予備校には通わなかった

問14. この学校に入学するまでに浪人しましたか。

1. はい
2. いいえ

問15. 現在通っている学校に合格した年には、この学校を含めて何校受験しましたか。

_____校 そのうち看護系の学校_____校

問16. この学校に入学してよかったと思うことは何ですか。あなたの気持ちに最も近い項目3つまでに○をつけてください。

1. 看護の知識や技術が身についた
2. 自分が人間的に成長した
3. 信頼できる友人と出会えた
4. 信頼できる教員と出会えた
5. 視野が広がった
6. やりがいを見いだせた
7. 看護の奥深さを知った
8. チームワークの大切さを知った
9. その他 ()
10. 特にない

問17. 学校内のクラブ活動・サークル活動などの課外活動に参加していますか

1. はい
2. いいえ
3. そのような活動は学校内にない

問18. 現在の学校の授業料はどのようにまかっていますか

1. 親が負担している
2. 自分で働いて支払っている
3. 奨学金で払っている
4. 勤務先の病・医院が払っている
5. 授業料はない
6. その他 ()

問19. 授業料を除いた生活費及び教材費等は、月平均いくらですか

生活費及び教材費 月平均 _____ 円

自分で働いて得た収入 月平均 _____ 円

問20. 奨学金をうけていますか

1. はい 2. いいえ

→月額いくらですか 1ヵ月合計 _____ 円

→どこからのものですか。該当するものすべてに○をつけてください

1. 日本育英会
2. 都道府県・市町村（看護婦として就職するという条件）
3. 都道府県・市町村（2を除く）
4. 卒業後就職する予定の病・医院
5. 学校独自のもの
6. その他（ ）

問21. [働きながら通学している方のみにお伺いいたします] 仕事をしながら通学することの問題点として、何が切実な問題ですか。1つだけ選んで○をつけてください。

1. 睡眠不足 2. 翌日まで疲れが残る 3. 職場の人間関係で気を使う
4. 自分の時間がない 5. 勉強がおろそかになる 6. 体調を崩しやすい
7. その他（ ）

問22. 学校をやめようと思った事がありますか。

1. はい 2. いいえ

→ やめようと思った主な理由3つに○を、最も大きな理由1つに◎をつけて下さい

1. 看護の職場に魅力がないと思った
2. 自分の性格が看護職に向いてないと思った
3. 実習で落ち込んだ
4. 講義内容がつまらなかった
5. 友人関係がうまくいかなかった
6. 実習先の看護職がいやだった
7. 自分の能力の限界を感じた
8. これから自分が何をしていたらよいかわからなくなった
9. 教員への不満
10. 体がもたないと感じた
11. 仕事と通学との両立に限界を感じた
12. その他 ()

→ 今までに1番やめたいと思ったとき、やめないでいられた理由は何ですか

1. 時間が解決してくれた
2. 教員の援助があった
3. 学校の友人の援助があった
4. 学校以外の友人の援助があった
5. 家族の援助があった
6. 自分の力で乗り切った
7. その他 ()

問23. 実習中、次のようなことがありましたか。またそこで困ったことは、その後解決されましたか。

1. 患者から、必要な情報を聞き出せなかった

1. あった 2. なかった

↳ その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

2. 患者から怒られた

1. あった 2. なかった

↳ その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

3. 実習記録が思うように書けなかった

1. あった 2. なかった

↳ その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

4. 患者から拒否された

1. あった 2. なかった

↳ その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

5. 実習場の指導者から指摘されたことが納得できなかった

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

6. 対応の技術が未熟だと感じた

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

問24. 実習中、あなたにとって1番うれしかったことは何ですか。該当する項目の番号1つに○をつけてください。

1. 患者に感謝された
2. 自分で納得する実習ができた
3. 実習指導者から認められた
4. 看護の素晴らしさがわかった
5. 感動する場面があった
6. 実習先ですばらしい看護職に出会った
7. 実習の苦しさを乗り越えられた
8. その他()

問25. 学校を卒業後、進学(含む編入学)する意志はありますか。

1. ある

2. ない

↳進学したいのは次にあげるどの学校ですか。卒業後進学したい学校すべてに○をつけてください。

1. 看護系大学院
2. 看護大学
3. 看護短期大学(2年課程)
4. 看護学校2年課程(進学コース)
5. 高等学校衛生看護専攻科
6. 助産婦学校
7. 保健婦学校
8. 養護教員養成課程
9. 看護以外の大学院
10. 看護以外の4年制大学
11. その他()

問26. [准看護婦学校・高等学校衛生看護科に在学中の方のみにお伺いいたします]
進学コースに進みたいとお思いですか。

1. 卒業後すぐに進学したい

2. いずれ進学したい

3. 進学するつもりはない

↳進学したいのはどのような種類の学校ですか

1. 看護短期大学(2年制)
2. 全日制2年課程看護学校
3. 定時制3年課程看護学校
4. 高等学校衛生看護専攻科
5. その他()

問27. [准看護婦学校・高等学校衛生看護科に在学中の方のみにお伺いたします]

進学に対してどのような不安や問題がありますか。次の中から該当するものすべてに○をつけてください。

1. 進学コースが少なく入りにくい
2. 入学に年齢制限がある
3. 男性が入学できる学校が少ない
4. 学校が遠いため通学できない
5. 家庭の事情で困難
6. 経済的に困難
7. 進学するには現在の職場を退職しなければならない
8. 人手不足のため進学すると職場の仲間に迷惑をかける
9. 職場の管理者に進学についての理解が乏しい
10. 職場の仲間に進学についての理解が乏しい
11. 職場をやめさせてもらえないので進学できない
12. 入試科目に英語や数学があるので自信がない
13. 別に不安はない
14. 進学する必要を感じない
15. その他 ()

[ここからは、全員がお答えください]

問28. 卒業後の進路をどのようにお考えですか。

1. 看護職として就業する
2. 進学する
3. 看護業務以外に就業する
4. その他 ()

希望する勤務先を1つだけ選んで○をつけてください

1. 病院
2. 診療所
3. 老人保健施設
4. 保健所
5. 検診センター
6. 市町村役場(保健センターを含む)
7. 会社・事業所
8. 助産所
9. 福祉施設
10. その他 ()

問29. あなたは、次のような分野で働いてみたいと思いますか

- | | | | | | | |
|----------|---|----|---|-----|---|-----------|
| 1. 老人看護 | 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらともいえない |
| 2. 在宅ケア | 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらともいえない |
| 3. 精神科看護 | 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらともいえない |

問30. あなたが就職先を決めるとき、重視する条件3つに○を、その中で最も重視するもの1つに◎をつけてください

1. 身分が安定
2. 収入が良い
3. 勤務時間が適当
4. 夜勤が少ない
5. 夜勤が無い
6. 通勤に便利
7. 寮(社宅・官舎)がある
8. 施設内保育所がある
9. 通学できる
10. 教育・研修の充実
11. 看護内容への期待
12. 最先端の医療
13. 知名度・イメージ
14. 仕事が適している
15. 友人・知人がいる
16. その他()

問31. あなたは職業継続について、どのようにお考えですか。あなたの意見に最も近いもの1つに○をつけてください

1. なるべく働きつづける
2. 結婚・出産を機に退職し、こどもが手を離れたら再就職する
3. 結婚・出産まで働く

勤め先をかえることについては

1. なるべく1つの勤め先にしたい
2. いくつかの勤め先で多様な経験を積む
3. 勤め先をかえても働き続ける

問32. 教員からの進路・就職指導は行われましたか

1. はい
2. いいえ

その進路・就職指導はあなたにとって満足できるものでしたか

1. 満足
2. まあ満足
3. やや不満
4. 不満

どのような点が不満ですか

問33. あなたは看護の仕事のイメージをどのようにお考えですか。1から5までの選択肢
1つに○をつけてください

	まったく そうである	やや そうである	やや そうではない	まったく そうではない
1. やりがいがある	1	2	3	4
2. むずかしい	1	2	3	4
3. 体力が必要	1	2	3	4
4. 毎日が勉強	1	2	3	4
5. すばらしい	1	2	3	4
6. つらい	1	2	3	4
7. 責任が重い	1	2	3	4
8. ドラマティック	1	2	3	4
9. 奉仕精神	1	2	3	4
10. 安定した職業	1	2	3	4

ご協力どうもありがとうございました。なお記入漏れなどがございましたと、せっかくのお答えが無駄になることがございますので、ごめんでもう一度記入漏れの確認をお願い申し上げます。

看護学生の進路選択に関する調査

1991年 11月1日
社団法人 日本看護協会
会長 有田 幸子

ご挨拶とお願い

日本看護協会は、保健婦、助産婦、看護婦、准看護婦等で構成されている、会員約34万人を擁する看護職能団体です。このたび、本会では看護学生の進路選択と学校生活の現状を把握するために、看護学生を対象とした調査を実施することにいたしました。調査結果は、本会が看護教育の充実に向けて活動する際の基礎資料として活用する所存です。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

皆様のお答えは、数字に置き換え統計的に処理いたしますので、お答えになった内容によって個人的にご迷惑をおかけする事は一切ございません。どうかありのままのお答えをお聞かせください。

問1. あなたの年齢は、満_____歳

問2. あなたの性別は 1. 女 2. 男

問3. 配偶関係は 1. 未婚 2. 既婚→子供の有無は 1. あり 2. なし

問4. 現在、どこから通学していますか

1. 自宅
2. 病・医院等の寮
3. 学校の寮
4. 1～3以外

問5. 現在の学校に入学するまでのあなたの最終学歴は（准看学校を除く。中退の場合、それ以前の卒業学歴を記入してください）

1. 中学校
2. 大学受験資格検定合格
3. 高等学校
4. 高等学校衛生看護科
5. 専門学校・短期大学
6. 高等専門学校
7. 大学
8. 大学院

問6. 現在通っている学校（進学コース）は

1. 全日制看護学校養成所
2. 定時制看護学校養成所
3. 短期大学
4. 高等学校衛生看護専攻科

問7. 准看護婦（士）免許取得後、何年目に進学コースに入学されましたか

_____年目

問8. 准看護婦学校を卒業後現在の学校に入学するまでに働いた経験はありますか

1. ある
2. ない

- └─→准看護婦（士）として働いた経験はありますか。
1. ある
 2. ない
- └─→准看護婦（士）として働いたことのある勤務先に○をつけてください
1. 病院
 2. 診療所
 3. 老人保健施設
 4. 検診センター
 5. 会社・事業所
 6. 福祉施設
 7. その他（ ）

問9. 現在通っている進学コースに合格するまでに、何年受験しましたか

1. はじめての受験で合格
2. _____年目に合格
（受験しなかった年は除いて、受験した年のみを数えてください）

問10. 現在通っている進学コースに合格した年にはこの学校を含めて何校受験しましたか

_____校

問11. 進学コースへ入学するまでにはどのような困難がありましたか。該当するもの全てに○をつけてください。

1. 進学コースが少なく入りにくい
2. 入学に年齢制限がある
3. 男性が入学できる学校が少ない
4. 学校が遠いため通学できない
5. 家庭の事情で困難
6. 経済的に困難
7. 進学するには職場を退職しなければならなかった
8. 人手不足のため進学すると職場の仲間に迷惑をかける
9. 職場の管理者に進学についての理解が乏しかった
10. 職場の仲間に進学についての理解が乏しかった
11. なかなか職場をやめさせてもらえないので進学できなかった
12. 入試科目に英語や数学があるので試験がむずかしかった
13. その他 ()

問11. 進学コースへの入学を志望したとき、ご両親や進路指導を担当された先生達は賛成しましたか。それぞれについてお答えください

	おおいに賛成	まあ賛成	やや反対	強く反対
父親・・・・	1	2	3	4
母親・・・・	1	2	3	4
先生・・・・	1	2	3	4

問12. 進学コースへの進学について誰に相談しましたか

1. 出身准看護婦学校の先生
2. 親
3. 職場の婦長
4. 職場の医師・事務長等の管理者
5. 看護協会
6. その他 ()
7. 誰にも相談しなかった

問13. 学校内のクラブ活動・サークル活動などの課外活動に参加していますか

1. はい
2. いいえ
3. そのような活動は学校内にない

問14. 現在の学校の授業料はどのようにまかっていますか。

1. 親が負担している
2. 自分で働いて支払っている
3. 奨学金で支払っている
4. 勤務先の病・医院が払っている
5. 授業料はない
6. その他 ()

問15. 授業料を除いた生活費及び教材費は、月平均いくらですか

生活費及び教材費 月平均 _____ 円

自分で働いて得た収入 月平均 _____ 円

問17. 奨学金を授与あるいは貸与されていますか

1. はい 2. いいえ

→ 月額いくらですか 1ヵ月合計 _____ 円

→ どこからのものですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. 卒業後就職する予定の病・医院
2. 都道府県・市町村（看護婦として就職するという条件）
3. 都道府県・市町村（2を除く）
4. 日本育英会
5. その他（ ）

問18. 進学コースに入学してよかったと思うことは何ですか。あなたの気持ちに最も近い項目 3つ に○をつけてください。

1. 看護の知識や技術が身についた
2. 自分が人間的に成長した
3. 信頼できる友人と出会えた
4. 信頼できる教員と出会えた
5. 視野が広がった
6. やりがいを見いだせた
7. 看護の奥深さを知った
8. チームワークの大切さを知った
9. その他（ ）
10. 特にない

問19. 進学コースに入学したことに喜びを感じていますか

1. おおいに感じている
2. まあ感じている
3. どちらともいえない
4. あまり感じていない
5. まったく感じていない

問20. [働きながら通学している方のみにお伺いいたします]

仕事をしながら通学することの問題点として、何が切実な問題ですか。1つだけ選んで○をつけてください。

1. 睡眠不足
2. 翌日まで疲れが残る
3. 職場の人間関係で気を使う
4. 自分の時間がない
5. 勉強がおろそかになる
6. 体調を崩しやすい
7. その他（ ）

問21. この学校をやめようと思った事がありますか。

1. はい 2. いいえ

→ やめようと思った主な理由3つに○を、最も大きな理由1つに◎をつけて下さい

1. 看護の職場に魅力がないと思った
2. 自分の性格が看護職に向いてないと思った
3. 実習で落ち込んだ
4. 講義内容がつまらなかった
5. 友人関係がうまくいかなかった
6. 実習先の看護職がいやだった
7. 自分の能力の限界を感じたとき
8. これから自分が何をしていたらよいかわからなくなった
9. 教員への不満
10. 体がもたないと感じた
11. 仕事と通学との両立に限界がある
12. その他 ()

→ 今までに1番やめたいと思ったとき、やめないでいられた理由は何ですか

1. 時間が解決してくれた
2. 教員の援助があった
3. 学校の友人の援助があった
4. 学校以外の友人の援助があった
5. 家族の援助があった
6. 自分の力で乗り切った

問22. 進学コースでの実習中、次のようなことがありましたか。またそこで困ったことはその後解決されましたか。

1. 患者から、必要な情報を聞き出せなかったこと

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

2. 患者から怒られたこと

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

3. 実習記録が思うように書けなかったこと

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

4. 患者から拒否されたこと

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

5. 実習場の指導者から指摘されたことが良くわからなかったこと

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

6. 対応の技術が未熟だと感じたとき

1. あった 2. なかった

↳その後解決されましたか 1. はい 2. いいえ

問23. 進学コースでの実習中、あなたにとって1番うれしかったことは何ですか。該当する項目の番号1つに○をつけてください。

1. 患者に感謝された 2. 自分で納得する実習ができた
3. 実習指導者から評価された 4. 看護の素晴らしさがわかった
5. 感動する場面があった 6. 実習先ですばらしい看護職に出会った
7. 実習の苦しさを乗り越えられた 8. その他 ()

問24. 進学コース卒業後、進学（含む編入学）する意志はありますか。

1. ある
2. ない

↳進学したいのは次にあげるどの学校ですか。卒業後進学したい学校すべてに○をつけてください。

1. 看護大学 2. 保健婦学校 3. 助産婦学校
4. 看護以外の4年制大学 5. 看護以外の大学院
6. その他 ()

問25. 卒業後の進路をどのようにお考えですか。

1. 看護婦（士）として就業する
2. 進学する
3. 看護業務以外に就業する
4. その他 ()

↳希望する勤務先を1つだけ選んで○をつけてください

1. 病院 2. 診療所 3. 老人保健施設 4. 保健所 5. 検診センター
6. 市町村役場（保健センターを含む） 7. 会社・事業所 8. 助産所
9. 福祉施設 10. その他 ()

問26. あなたは、次のような分野で働いてみたいと思いますか

- | | | | | | | |
|----------|---|----|---|-----|---|-----------|
| 1. 老人看護 | 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらともいえない |
| 2. 在宅ケア | 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらともいえない |
| 3. 精神科看護 | 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらともいえない |

問27. あなたが就職先を決めるとき、重視する条件3つに○を、その中で最も重視するもの1つに◎をつけてください

- | | | | |
|--------------|--------------|----------------|-----------|
| 1. 身分が安定 | 2. 収入が良い | 3. 勤務時間が適当 | 4. 夜勤が少ない |
| 5. 夜勤が無い | 6. 通勤に便利 | 7. 寮(社宅・官舎)がある | |
| 8. 施設内保育所がある | 9. 通学できる | 10. 教育・研修の充実 | |
| 11. 看護内容への期待 | 12. 最先端の医療 | 13. 知名度・イメージ | |
| 14. 仕事が適している | 15. 友人・知人がいる | 16. その他() | |

問28. あなたは職業継続について、どのようにお考えですか。あなたの意見に最も近いもの1つに○をつけてください

- 1. なるべく働きつづける
- 2. 結婚・出産を機に退職し、こどもが手を離れたら再就職する
- 3. 結婚・出産まで働く

→ 勤め先をかえることについては

- 1. なるべく1つの勤め先にしたい
- 2. いくつかの勤め先で多様な経験を積む
- 3. 勤め先をかえても働き続ける

問29. 進学コースの教員からの進路・就職指導は行われましたか

- 1. はい
- 2. いいえ

→ その進路・就職指導はあなたにとって満足できるものでしたか

- 1. はい

- 2. いいえ

→ それはどのような点ですか

問30. あなたは看護の仕事のイメージをどのようにお考えですか。1から5までの選択肢つに○をつけてください

	まったく そうである	やや そうである	やや そうではない	まったく そうではない
1. やりがいがある	1	2	3	4
2. むずかしい	1	2	3	4
3. 体力が必要	1	2	3	4
4. 毎日が勉強	1	2	3	4
5. すばらしい	1	2	3	4
6. つらい	1	2	3	4
7. 責任が重い	1	2	3	4
8. ドラマティック	1	2	3	4
9. 奉仕精神	1	2	3	4
10. 安定した職業	1	2	3	4

問31. [あなたが受けた准看護婦教育についてお伺いいたします]

准看護婦(士)学校を選んだ理由は何ですか。該当するものすべてに○を、また主な理由ひとつに◎をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 人のためになる仕事をしたかった | 2. 手早く資格を身に付けたかった |
| 3. 看護職は就職に有利 | 4. 入学しやすかった |
| 5. 看護職は収入がいい | 6. 他の学校に比べて授業料が安い |
| 7. 人にすすめられて | 8. 看護制度をよく知らなかった |
| 9. 何となく | 10. その他 () |

問32. 准看護婦学校への入学は、あなたにとって第一志望でしたか。

1. はい
2. いいえ

↳第1志望はどのような種類の学校でしたか。あてはまるものの番号に○をつけて下さい。

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| 1. 看護大学 | 2. 看護短期大学 | 3. 3年制看護学校 |
| 4. 看護以外の大学 | 5. 看護以外の短期大学 | |
| 6. 衛生看護科以外の高等学校 | 7. その他 () | |

問33. 准看護婦学校へ入学しようと思ったのはいつですか

1. 中学校時代(それ以前を含む)
2. 高校1年生
3. 高校2年生
4. 高校3年生
5. 看護以外の専門学校・大学に進学してから
6. 社会人になって

問34. [准看護婦として就業したことのある人のみお答えください。]

准看護婦学校での教育内容は実際の臨床現場にどの程度役立ったとお考えですか。

1. かなり役立った
2. ある程度役立った
3. あまり役立たなかった
4. まったく役立たなかった

問35. あなたが受けた准看護婦教育について、あるいは准看護学校通学中の勤務先との関係で問題と思ったことがあったら何でもご自由に下の余白にお書きください。

問36. あなたは、これからの世代の人に准看護婦教育をすすめますか。

1. はい
2. いいえ

問37. [准看護婦（士）として就業したことのある人のみお答えください。]

あなたご自身が准看護婦（士）であるために次のようなご苦勞がありましたか。次の中から、該当するものすべてに○をつけてください。また、日頃思っていたり、感じていることについて、下の余白にご自由にお書きください。

1. 准看護婦（士）なのにリーダーの仕事もこなさなければならなかった
2. 自分でも、准看護婦（士）のままではだめだと思った
3. 准看護婦（士）という理由で、希望する仕事をさせてもらえなかった
4. 准看護婦（士）という理由で、希望する職場に就職できなかった
5. 看護婦（士）と同じ仕事ができているのに、准看護婦（士）としてしか扱われなかった
6. 進学コースに進むのも困難な状況で、仕事をやめたいと思った
7. 看護婦（士）と比べて研修の機会が少なかった
8. 給与額で看護婦（士）と大きな差をつけられた
9. 昇進で看護婦（士）と大きな差をつけられた
10. その他

問38. 日本看護協会では、准看護婦制度について次のような主張をしています。

- ①准看護婦制度を廃止し、准看護婦学校を看護学校に切り替える。
- ②准看護婦制度廃止後、准看護婦はそのまま「都道府県登録の看護婦(士)」として働き続けられるようにする。
- ③「都道府県登録の看護婦(士)」で、「国家登録看護婦(士)」になることを希望する人のために、「実務経験8年以上」の人は、進学コースに通わなくても、国家試験を受験できるようにする。ただし、12年間の時限立法とする。

あなたは、日本看護協会がこのような主張をしていることをご存じですか。

1. 知っている 2. 廃止後の移行措置までは知らなかった 3. 初めて知った

問39. 看護協会が行っている准看護婦制度廃止運動についてご意見をお聞かせください

ご協力どうもありがとうございました。なお記入漏れなどがございましたと、せっかくのお答えが無駄になることがございますので、ごめんでもう一度記入漏れの確認をお願い申し上げます。